

松江キャンパス

平成24年度 公立大学法人島根県立大学
地域連携推進センター松江キャンパス運営会議 名簿

(任期：平成24.4.1～平成25.3.31)

職名	氏名	備考
教授	小泉 凡	・地域連携推進センター副センター長
教授	赤浦 和之	・地域連携推進委員会委員 ・地域連携コーディネーター (学生ボランティア推進)
准教授	矢島 毅昌	・地域連携推進委員会委員 ・地域連携コーディネーター (教育機関連携)
教授	河原 修一	・地域連携推進委員会委員 ・地域連携コーディネーター (公開講座連携)
管理課長	上代 勇夫	・事務局委員
嘱託員	藤原 香緒里	・事務局委員

松江キャンパスの地域連携活動概要

地域連携推進センター副センター長 小泉 凡

平成 24 年度の松江キャンパス地域連携推進センターでは、公開講座・教育機関連携・学生地域ボランティア活動の推進の 3 つを軸に活動した。また、24 年度も、正課授業・卒業プロジェクト・サークル活動を通して、あるいは学科として、グループ・個人の単位で、活発な地域貢献活動が行われた。以下の目次に従って、松江キャンパスの地域貢献活動をまとめることにする。

1. 地域連携推進委員会の活動
2. 公開講座・講演会等の開催
3. おはなしレストランライブラリーの地域連携活動
4. 地域活性化支援—企業・団体・NPO 法人等との連携
5. 地域活性化支援—自治体等との連携
6. 教育機関等との連携—保・幼・小・中・高・大の教育連携
7. 教育課程のための地域の施設・機関との連携

24 年度の活動でまず特筆されるものは、公開講座「椿の道アカデミー」の 20 周年記念事業を実施したことである。20 周年という節目を迎えたことと、会員制度が施行されて 1 年を経過し、新たな会員を獲得する目的から、Ⅰ 名誉教授特別公開講座、Ⅱ 文化資源探究講座「出雲神話をおくく」、Ⅲ 佐野史郎氏と山本恭司氏による朗読ライブ「神話コラボレーション「KWAIDAN という名の『神話』」」の 3 つの記念事業を実施した。とくにⅢについては関東、関西方面からの参加者もあり、松江キャンパスが広く周知される効果もみられた。（詳細は後述）特別講座は概ね好評であり、一連の特別講座を含めた公開講座の参加者数は昨年度を 130 名ほど上回った。しかし、通常の公開講座の参加者数は減少しており、有料化に伴う問題点を浮き彫りにしている。

一方で、公開講座会員等による図書館利用は活発化しており、前年度より 400 名近く増加し、24 年度は 1040 名となった。おはなしレストランライブラリーについても新規の利用者が目立ち、クリスマス会には 200 名を超える参加者があった。また、公開講座を生かした共同研究プロジェクト出雲神話翻訳研究会による『古事記』英訳の成果を年度末にウェブサイトで公開することができた。その意味では地域連携活動の広がりが実感できる 1 年でもあった。

ボランティア活動については、飛鳥祭の当日に、「3 キャンパス合同学生ボランティア交流会」が松江キャンパスで開催され、学内にボランティア活動への関心を高める機会になった。それに前後して、本キャンパスでも 2 つのボランティアサークルが立ち上がっている。

被災地支援に関しては、「3.11 東日本大震災復興支援映画 Pray for Japan—心をひとつに—」（スチュウ・リービー監督）の島根県民会館での上映に協力した。今後も学生による被災地支援ボランティアの推進を重視していきたいと考えている。

「地域をキャンパスに」「キャンパスを地域に」の精神を念頭に置き、25 年度以降も、地域のニーズにこたえる地域貢献活動を継続していきたい。

1. 地域連携推進委員会の活動

松江キャンパスにおいては、地域連携推進委員会が、「公開講座」「教育機関・その他高大連携」「学生ボランティア活動の推進」での地域貢献の3部門で委員により窓口を分担した。

- ・委員長（地域連携推進センター副センター長） 小泉 凡（総合文化学科教授）
- ・公開講座での地域貢献担当委員 河原修一（総合文化学科教授）
- ・幼保園のぎ・乃木小学校・湖南中学校・松江商業高等学校との三者連携を含む教育機関とその他高大連携担当委員 矢島毅昌（保育学科講師）
- ・学生ボランティア活動推進での地域貢献担当委員 赤浦和之（健康栄養学科教授）

2. 公開講座等の開催

【24年度公開講座の概要】

平成23年度から、松江キャンパス利用者向け「椿の道アカデミー」会員制度を開始し、生涯教育、地域教育の拠点としての松江キャンパスの魅力づくりの推進をはかってきた。24年度は図書館利用者証を兼ねた「会員証」を、235名に支給した。

「椿の道アカデミー」における各講座は、それぞれの趣旨や内容に従って、通常複数回の講義や実習等を提供し、受講者数をも独自に定めている。平成24年度の「椿の道アカデミー」では合計14講座、89回を開講することとし、受講者を募った。結果、総申込者数259の内、登録者数は235であった（「平成24年度公開講座申込総括表」参照）。これを割合に変換すると、約91%の登録率である。なお、「山陰民俗学会連携講座：島根県の民話とわらべ歌を中心に」、「民族音楽の楽しみ：ガムラン教室」、「初めての陶芸体験：手びねりで、焼き物を作ってみよう」そして「健康栄養講座：おいしさの科学」が、「まつえ市民大学」連携講座の一部であることから、この市民大学関連の受講生も上記中の該当講座を受講している。なお、平成24年度の公開講座の開催状況については、一覧表を127頁に掲載している。

なお、平成24年度は、「椿の道アカデミー20周年記念特別講座」を開催したが、これについては別項で述べる。

平成24年度の特別講座を含む公開講座のべ参加者数は1,927名で、昨年度の1,797名に比べ増加している。特別講座が好評だったことによるものと思われる。

また、後述するように、客員教授の公開授業を「椿の道アカデミー」の会員にも周知したことで、一定数の参加を得た。また会員が本学に足を運ばれる機会がより増加したことは平成24年度の喜ばしい動きと言えるだろう。

【資格支援講座—日本語教師の検定講座】

「日本語教育能力検定試験」受験用の講座を2講座、文法編と音声編とを開講した。日本語教育能力検定試験とは、日本語が非母語である人に日本語を教えるための必要知識を認定する、日本語教師を目指す人のための試験である。この検定試験で独学では、身につけにくい「日本語文法」と「音声」を取り上げ、各分野を5回ずつ行い、延べ105名の方が受講した。

講座内容としては、文法編では、試験によく出題され、かつ実際に教える際に難しいとされる分野（格助詞・態・アスペクト・モダリティ etc.）を扱い、音声編では、日本語の発音で外国人が学ぶ際に困難とされる発音の特徴、また日本語において語の意味の判別に必要なアクセントを主に扱った。音声は、リスニングという形式で試験科目に加わっている。

【英語絵本の音読と「読み聞かせ」に挑戦】

平成 24 年度は成人対象の「英語絵本の音読と読み聞かせ」講座を実施した。受講者数は 10 名で、和気あいあいとした雰囲気で実施できた。最終回はおはなしレストランライブラリーでの読み聞かせ実践を行い、ライブラリーに来ていた子供たちが熱心に英語絵本の読み聞かせに耳を傾けてくれた。



【共同研究と連動した出雲神話翻訳研究会】

本学教員と NPO 出雲学研究所（藤岡大拙理事長）による共同研究プロジェクト「出雲神話翻訳研究会」の公開講座は 2 年目に入った。24 年度も藤岡大拙氏による『古事記』講読の講座が 4 回、その英訳を担当した本学総合文化学科英語系教員による講座が 3 回開催された。岩波ワイド版『古事記』、藤岡解釈をもとにした英訳と注釈は、24 年度末に出雲神話翻訳研究会ウェブサイト（<http://izumo-kojiki.com>）を立ち上げ成果を公開することができた。なお、本研究会は 25 年度も継続して開催される。

【趣味と芸術の講座—初めての陶芸体験】

一般社会人向けの講座として、保育学科の福井一尊准教授は「初めての陶芸体験」～手びねりで、焼き物を作ってみよう～を開講した。本講座では陶芸初心者を対象として、全 4 回シリーズで手びねりによる焼き物体験を行った。前半 2 回では、陶芸用の粘土を練ることから練習を重ね、粘土造形によって湯呑、茶碗、小鉢、箸置きなどの使える形を生み出すことを目的とした。粘土を直接手で扱いながら、時間を忘れて粘土素材の魅力に浸る経験を積んだ。後半では、電気窯により約 800℃で素焼きした作品に絵付けや、釉薬かけを行い、1,230℃で本焼きをして作品を完成させた。今回使用した粘土は「信楽土白および赤粘土」、「志野土白および赤粘土」、「耐急速急冷白粘土」の 5 種類



であり、その質感による扱い方や焼き上がりの色の違いについての出来る内容とした。また、釉薬は「志野釉」、「トルコ釉」、「玉虫釉」、「そば釉」、「なまこ釉」および「透明釉」の 6 種類を用いた。陶芸は作る愉楽とともに、観たり使ったりすることも醍醐味であるため、最後には受講者 15 名全員で作品を使って季節を味わう体験も取り入れ

た。受講者にとって、焼き物の基本的な工程を体験的に学びながら、素材の魅力や火の力を感じ、人が本来持っている作り出す喜び、工夫する楽しさを再認識できる貴重な学びの場となった。

【椿の道アカデミー20周年記念事業】

平成24年度で松江キャンパス公開講座「椿の道アカデミー」が20周年を迎えるにあたり、3つの記念事業を企画・実行した。

① 名誉教授特別公開講座

平成23年度で退職された高橋憲二名誉教授（社会福祉学）による「過疎地の地域福祉」（開催日は9月26日・10月24日・11月7日・11月28日）と三保サト子名誉教授（日本古典文学）による「大人のための源氏物語」（開催日は10月3日・10日・17日・24日・31日）の2講座を開講、本学体育館研修室で実施し、好評を得た。椿の道アカデミーの会員に限定せず、広く一般に公募を行い、「過疎地の地域福祉」には76名、「大人のための源氏物語」に266名の参加者（のべ人数）があった。



▼名誉教授特別公開講座風景（左：高橋憲二名誉教授、右：三保サト子名誉教授）

② 文化資源探求講座

「古事記」編纂1300年にあたることから、平成24年10月8日（月・祝）に文化資源探求講座「出雲神話をあぐる」を実施した。

コースは須賀神社奥宮、多芸志の小浜、出雲大社（瑞垣内見学）、猪目洞窟、韓竈神社など一般に個人では訪問しにくい出雲神話にまつわるパワースポットを小型バス2台で訪問した。元山陰中央信報社学芸部長の岡部康幸氏と総合文化学科の小泉凡教授が講師として同行した。

当初、公募も含めて30名を予定していたが、椿の道アカデミー会員



▼文化資源探求講座「出雲神話をあぐる」多芸志の小浜

のみで多数の希望者があったため、小型バス 2 台とし、抽選で 40 名に限定した。参加者の満足度は高く、来年度以降の継続を希望する声があがった。ただし、結果的に一般公募に至らなかったことは残念である。25 年度は通常の公開講座に組み込み、継続して実施する予定である。

③ 神話コラボレーション KWAIDAN という名の『神話』

松江出身で俳優の佐野史郎氏と、同じく松江出身の世界的なギターリスト山本恭司氏による朗読ライブを、平成 24 年 11 月 3 日（土・祝）に本学大講義室で実施した。

総合文化学科の小泉凡教授がナビゲーターをつとめ、小泉教授の小泉八雲と神話・怪談に関する講演、佐野史郎氏・山本恭司氏による朗読ライブの 2 部構成で実施した。冒頭には本田雄一学長が主催者としてあいさつを行った。

テーマは「古事記」編纂 1300 年に因み、「KWAIDAN という名の『神話』」。佐野史郎氏が小泉八雲の作品の中から、出雲神話、竜神や水に関わる怪談を選び、音楽とギター演奏にあわせて朗読を行った。松江南高等学校の同級生でもある二人のアーティストの息の合ったライブは参加者を魅了した。学生教職員 60 名、椿の道アカデミー会員 45 名、一般参加者 54 名の計 159 名が参加した。

なお、この記念事業には「神在月まつえ文化・観光月間実行委員会」の協力をいただいた。



【客員教授による講演会の公開】

24 年度は各学科で客員教授による講演会を実施し、椿の道アカデミー会員や一般に公開した。他に健康栄養学科では、7 月 8 日に日本栄養改善学会中国支部市民公開講座（講師：広島県立大学教授 加藤秀夫氏）を実施し、150 名の学内外の参加者がった。

各学科の客員教授講演会の概要は以下の通りである。

① 健康栄養学科

日時：平成 24 年 11 月 11 日（日）

講師：神奈川県立保健福祉大学学長 中村 丁次 氏

テーマ：「これからの管理栄養士・栄養士に求められること」

参加者：学生 84 名、教職員 10 名、学外 26 名 合計 120 名

②保育学科

日時：平成 25 年 1 月 13 日（日）

講師：白梅学園大学大学院教授 無藤 隆 氏

会場：島根県民会館中ホール

テーマ：「保幼小のカリキュラムの接続 ―躍動する保育・集中する授業―」

参加者：学生、教職員および学外者約 300 名、「事例検討研究会」では 55 名の学外参加

① 総合文化学科

講義 1（松江市民大学との共催）

日時：平成 24 年 5 月 19 日（土）

講師：奈良県立万葉文化館名誉館長 中西 進 氏

会場：プラバホール

テーマ：「いにしえの日本人のこころ」

講義 2

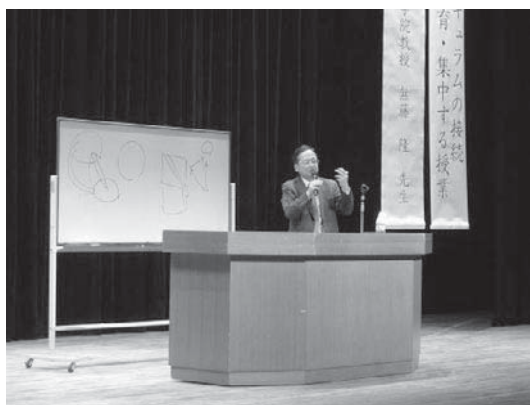
日時：平成 24 年 10 月 24 日（水）

講師：詩人・絵本作家 アーサー・ビナード氏

テーマ：日米の言葉や文化の違いについて

会場：本学大講義室

参加者：講義 1・2 を通して、学生・教職員・学外からの参加者の合計 400 名



▼客員教授講演会 左：無藤 隆氏、右：アーサー・ビナード氏

【被災地支援映画上映会への協力】

松江キャンパス地域連携推進センターでは、3.11 東日本大震災復興支援ドキュメンタリー映画上映実行委員会に参画し、「3.11 東日本大震災復興支援映画 Pray for Japan—心をひとつに—」の上映（平成 25 年 3 月 11 日、島根県民会館中ホールで上映）に協力した。本学教職員・学生が参加した。

この作品は、2011 年 3 月 11 日の東日本大震災で被災された人々の物語で、悲劇と戦い、打ち勝つために前向きに生きる様子が描かれている。監督はアメリカ人のスチュウ・リービー。家族・ボランティア・避難所・学校と、4 つの視点から構成されており、この自然災害がいかにさまざまな人に大きな影響を与えたかが分かるドキュメント映画である。中国地方では初めての上映であった。

3. おはなしレストランライブラリーの地域連携活動

【読み聞かせの活動】

平成 24 年度、おはなしレストランで行なった絵本の読み聞かせ活動は次の 5 種類である。

- ◆松江市立幼保園のぎでの実践（5月～7月、11月～1月の毎週月曜日）
- ◆松江市立乃木小学校での実践（5月～7月、11月～1月の毎週水曜日）
- ◆松江市立忌部小学校での実践（4月～7月、10月～3月の毎週金曜日）
- ◆おはなしレストランライブラリーでの実践（4月～2月の毎週日曜日）
- ◆出前シェフ（不定期）

幼保園のぎ、乃木小学校での実践は、健康栄養学科、保育学科、総合文化学科の1年生のうち、「読み聞かせの実践」を履修した49名が参加した。忌部小学校と本学おはなしレストランライブラリーで行なう「おはなしのじかん」は、総合文化学科2年生のうち、卒業プロジェクト「おはなしゼミ」の11名が参加した。「おはなしのじかん」は、常時30名前後の親子連れの来館があり、この活動を始めた平成23年度に比べて安定してきた。12月16日に行なった「クリスマス会 おはなしのじかんスペシャル」では、200名を超える来館者で賑わい、用意した子どもたちへのプレゼントが足りないほどだった。

不定期の取組として、学外の保育所や図書館などからの要望を受けて読み聞かせに出かける「出前シェフ」では、平成24年度は、松江市内の保育所をはじめ、合計23か所で活動を行なった。例年、出前シェフは島根県内での活動がほとんどであるが、本年度は、国内最大級の規模を誇る児童書専門図書館「金沢市立玉川こども図書館」において金沢の子どもたちに読み聞かせを行なった。また、読み聞かせの対象も本年度は幅が広がり、子どもたち以外に、中学生、高校生、一般向けの読み聞かせにも学生たちは果敢にチャレンジし、自信を深めた。



おはなしのじかんスペシャルの様子

【東日本大震災の支援活動】

平成24年7月、おはなしレストランライブラリーは、陸前高田市図書館「夢プロジェクト」の支援活動を開始した。「夢プロジェクト」とは、津波によって破壊された陸前高田市図書館を

再建するため、古書を買取業者に送り、その買取金額を図書館再建の基金に充てるというものである。おはなしレストランライブラリーは、古書収集の一拠点として手を挙げ、多くの方々の協力によって平成25年3月時点で13,000冊を超える古書を回収、発送した。

平成24年9月20日、総合文化学科の岩田教授は陸前高田市を訪問し、久保田崇副市長におはなしレストランライブラリーの支援活動について報告を行なった。次いで陸前高田市図書館副主幹の長谷川敬子氏の案内で、壊れた図書館ほかを見学した。骨格を残してぼろぼろになった図書館の中で、ひととき印象に残ったのが、読み聞かせをする「おはなしのへや」の跡である。コンクリートが剥き出しになった灰色の世界で、「おはなしのへや」のカーペットだけが赤く残っていた。「ここで子どもたちに絵本を読んでいたんですよ」、長谷川様は声を詰まらせながらそう説明された。

この取組は、松江市役所、島根大学学生有志、島根県立松江東高等学校、松江市立乃木小学校、城北小学校、海士町中央図書館などから協力をいただき、陸前高田市図書館の再建を目標とした地域連携が形成されつつある。おはなしレストランライブラリーでは、平成24年度も引き続き支援活動を行う予定である。

この取組は、松江市役所、島根大学学生有志、島根県立松江東高等学校、松江市立乃木小学校、城北小学校、海士町中央図書館などから協力をいただき、陸前高田市図書館の再建を目標とした地域連携が形成されつつある。おはなしレストランライブラリーでは、平成24年度も引き続き支援活動を行う予定である。



陸前高田市立図書館「おはなしの部屋」

【読みメン道場】

おはなしレストランは、平成24年度より、「島根県子ども読書活動推進会議」（島根県教育庁社会教育課所管）と協力して、「読みメン道場」を始めた。絵本の読み聞かせを通して、父親も自然なかたちで、しかも楽しく子育てをするための取組である。おはなしレストランで取り組んでいる地域連携は子どもを対象としたものが多いが、これは大人向けの地域への働きかけである。

父親が読み聞かせをする際のポイントを、「読みメン3か条」としてわかりやすくまとめ、読み聞かせの記録用に、「読みメン手帳」を作成し、講演や出前シェフの折に、地域の皆さまに配布している。



4. 地域活性化支援－企業・団体・NPO法人等との連携

松江キャンパスにおいては、24年度もNPO法人等、学外団体との協力を継続的に推進した。今年度は、健康栄養学科により食育推進での連携活動、総合文化学科の「おはなしゼミ」による県内各地での読み聞かせ活動等、多彩な連携事業を実施した。

平成24年度松江キャンパス学外団体との共催事業及び学外団体への協力事業

事業名称	本学担当者	事業内容	期間	参加者	備考
第8回日本栄養改善学会中国支部学術総会および市民公開講座	健康栄養学科教授 名和田清子	第8回日本栄養改善学会中国支部学術総会および市民公開講座の開催	平成24年 7月7日,8日		運営委員：健康栄養学科全教員および学生16名
島根県立大学北東アジア地域学術交流研究助成金(地域貢献プロジェクト)	健康栄養学科 教授 名和田清子 教授 小柏道子 助教 坂根千津恵 助教 水 珠子 助手 川谷真由美 主任看護師 手島由美子	大学、行政、地域の連携による、青年層への食育プログラムの開発	平成24年度		健康栄養学科教員と学生、松江市との共同研究
島根県畜産技術センター	健康栄養学科 准教授籠橋有紀子 助教 水 珠子	受託研究課題「早期出荷された牛肉の品質評価手法の検討」の実施	平成24年 8月20日 ～平成25年 3月31日		健康栄養学科学生8名参加
平成24年度牛乳・乳製品利用料理コンクール島根県大会	健康栄養学科教授 名和田清子	開催支援	平成24年 10月10日		健康栄養学科学生7名ボランティア
炎症性腸疾患患者会 陽だまりの会	健康栄養学科教授 名和田清子	研修会の開催支援及び講師	平成24年 7月14日	14名	健康栄養学科学生8名ボランティア
炎症性腸疾患患者会 はなみずきの会(浜田保健所)	健康栄養学科教授 名和田清子	研修会の開催支援及び講師	平成24年 9月23日	10名	健康栄養学科学生2名ボランティア
炎症性腸疾患患者会 倶楽部UCD(出雲保健所)	健康栄養学科教授 名和田清子	研修会の開催支援及び講師	平成24年 10月28日	19名	健康栄養学科学生8名ボランティア
第39回小児糖尿病大山サマーキャンプ	健康栄養学科教授 名和田清子	第39回小児糖尿病大山サマーキャンプの開催支援	平成24年 8月5日 ～8月12日		健康栄養学科学生11名ボランティア
2012松江市健康福祉フェスティバル	健康栄養学科教授 名和田清子	親子への食育コーナーの開設 親子で作ろう!!キャラクターごはん ～ごはんにまほうをかけましょう～	平成24年 7月1日		健康栄養学科学生14名が運営

平成 24 年度松江キャンパス学外団体との共催事業及び学外団体への協力事業（続き）

事業名称	本学担当者	事業内容	期間	参加者	備考
コープフェスティバル(生協しまね主催)	健康栄養学科 教授 名和田清子 准教授 直良博之 助教 水 珠子	親子への食育コーナーの開設 「食べ物ゲームで遊ぼう！学ぼう！」～食のオリンピック～	平成 24 年 10 月 7 日		健康栄養学 科学生 14 名 が運営
第 2 回しまねオーガニックフェア(島根県・島根県農業協同組合中央会・全国農業協同組合連合会島根県本部主催)	健康栄養学科教授 名和田清子	開催のための支援	平成 24 年 12 月 22 日		健康栄養学 科学生 15 名 ボランティア
松江市食部会	健康栄養学科教授 名和田清子	松江市食部会メンバーとして、 松江市立女子高等学校での食育	平成 24 年 11 月 29 日 平成 25 年 1 月 30 日		健康栄養学 科学生 8 名が 参加
出雲市立中央図書館	総合文化学科教授 岩田 英作	総合文化学科卒業プロジェクト「おはなしゼミ」出前シェフ	平成 24 年 5 月 26 日		総合文化学 科学生 4 名参 加
横田コミュニティーセンター	総合文化学科教授 岩田英作	総合文化学科卒業プロジェクト「おはなしゼミ」出前シェフ	平成 24 年 8 月 9 日		総合文化学 科学生 3 名参 加
大田市立中央図書館	総合文化学科教授 岩田英作	総合文化学科卒業プロジェクト「おはなしゼミ」出前シェフ	平成 24 年 8 月 25 日		総合文化学 科学生 3 名参 加
金沢市立玉川こども図書館	総合文化学科教授 岩田英作	総合文化学科卒業プロジェクト「おはなしゼミ」出前シェフ	平成 24 年 8 月 29 日		総合文化学 科学生 11 名 参加
雲南市立加茂図書館	総合文化学科教授 岩田英作	総合文化学科卒業プロジェクト「おはなしゼミ」出前シェフ	平成 24 年 10 月 20 日		総合文化学 科学生 2 名参 加
雲南市主催三刀屋中学校での読み聞かせ(一般対象)	総合文化学科教授 岩田英作	総合文化学科卒業プロジェクト「おはなしゼミ」出前シェフ	平成 24 年 10 月 21 日		総合文化学 科学生 3 名参 加

平成 24 年度松江キャンパス学外団体との共催事業及び学外団体への協力事業（続き）

事業名称	本学担当者	事業内容	期間	参加者	備考
NPO法人松江 ツーリズム研究 会	総合文化学科教授 小泉 凡	同 NPO が運営する小 泉八雲記念館の顧問 として、企画展の企画 運営・常設展示キャプ ション・レプリカ作成 等に関し、監修を行 う。また同 NPO が実 施する「松江ゴースト ツアー」へるんコース の講師を務める(毎月 1回)	平成 24 年 4 月 ～平成 25 年 3 月		
焼津市教育委員 会	総合文化学科教授 小泉 凡	焼津小泉八雲記念館 の名誉館長として、開 館 5 周年記念講演、文 芸作品コンクールで の講演、会報の執筆、 25 年度企画への助言 等を行う	平成 24 年 7 月 ～平成 25 年 3 月	記念 講演会 来場者 300 名	
オープン・マイン ド・オブ・ラフカ ディオ・ハーン in ニューオーリ ンズ実行委員 会・松江市	総合文化学科教授 小泉 凡	同実行員会顧問とし て、10 月 18 日から 28 日まで、ニューオーリ ンズのデュレーン大 学で開催された、造形 美術展"The Open Mind of Lafcadio Hearn"の企画・運営、 講演会講師等を務め る	平成 24 年 5 月 ～平成 25 年 2 月	講演会 来場者 150 人、 展示会 来場者 500 人	
「子ども塾ース ーパーヘルンさ ん講座ー」 (松江市観光振 興部観光文化課)	総合文化学科教授 小泉 凡	子どもの五感力を育 む教育実践「子ども 塾」を実施・運営し、 塾長をつとめる。島根 大学附属小学校の教 員、地元写真家・グラ フィックデザイナー とも連携して実施	平成 23 年 5 月 ～平成 23 年 9 月	松江市 内小学 生 16 名	

平成 24 年度松江キャンパス学外団体との共催事業及び学外団体への協力事業（続き）

事業名称	本学担当者	事業内容	期間	参加者	備考
アイリッシュ・フェスティバル in Matsue 2013	総合文化学科教授 小泉 凡	同事業の実行委員長として企画・運営にあたる。同日のボランティア・スタッフとして約 10 名の松江キャンパス学生が参加	平成 24 年 10 月 ～平成 25 年 3 月	市民・観光客ら 約 350 名	本学ティンホイッスル・サークル学生 10 名参加
第 98 回全国図書館大会島根大会	総合文化学科講師 石井大輔	第 10 分科会（図書館学教育）「新しい養成カリキュラムの開始と地方の司書課程・司書講習」の共催（日本図書館協会図書館教育部会）	平成 24 年 10 月 26 日		総合文化学科学生 130 名参加。当日の本学からの報告者として、総合文化学科教授マユアキ、講師 石井大輔、学生図書委員（2 名）

【健康栄養学科の地域活性化支援】

食育、地産地消推進のための活動として、平成 24 年度は、島根県立大学北東アジア地域学術交流研究助成金を受け、健康栄養学科教員および学生が、松江市と共同で、食育の地域貢献プロジェクト「大学、行政、地域の連携による、青年層への食育プログラムの開発」を行った。平成 25 年 3 月 11 日には、このプロジェクトの成果発表会を行った。松江市健康まちづくり課管理栄養士 2 名、中国四国農政局から 1 名、食育コーディネータ 1 名、松江市企業から 5 名が参加し、平成 24 年度活動の評価、平成 25 年度の活動に向けて協議を行った。地域での食育活動としては、「2012 松江市健康福祉フェスティバル」（7 月 1 日、教員 1 名、学生 14 名）や「コープフェスティバル」（教員 3 名、学生 14 名）で、親子への食育コーナーを開設し、平成 24 年度牛乳コンクール（島根県牛乳普及協会）（10 月 10 日、於 島根県立大学短期大学部松江キャンパス）



コープフェスティバル 2012

では、学生 7 名がボランティアを務めた。また、地産地消推進のための支援として、平成 24 年 12 月 22 日には、第 2 回しまねオーガニックフェア（島根県・島根県農業協同組合中央会・全国農業協同組合連合会島根県本部主催）に、学生 15 名がボランティアとして参加した。

さらに、西条ガキ、しまね和牛等の地域特産品に関する利用加工や製品化、ブランド化、販路拡大といった地域からの要望に応え、データの提供や技術指導を行った。平成 24 年 8 月か

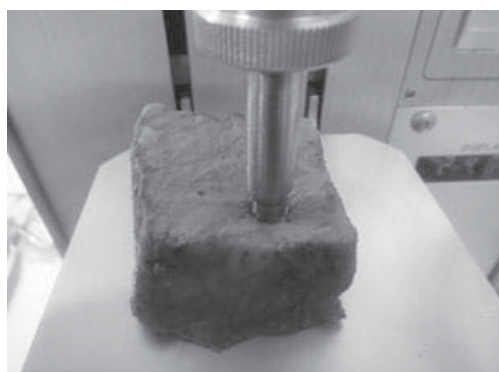
ら平成 25 年 3 月において、早期出荷された「しまね和牛肉」の品質評価手法の検討について、健康栄養学科教員（籠橋有紀子准教授、水珠子助教）および学生 8 名が島根県畜産技術センターとの受託研究において官能試験等に協力し、データの提供を行った。また、成果の一部については、平成 25 年 2 月の卒業研究発表会において発表を行った。

また、平成 25 年 3 月 8 日平田ゆらりで開催された、「食品分野研究シーズ発表会 in 平田」において、健康栄養学科教員（赤浦和之教授および籠橋有紀子准教授）が上記の西条ガキ、しまね和牛等の地域特産品に関する利用加工や製品化、ブランド化に関する一連の研究成果の発表を行った。

次年度も引き続き、地域の活性化の観点から、西条柿では、西条ガキ熟柿の生産と熟柿ピューレを用いた加工食品の開発を行う。また、「しまね和牛肉生産技術の開発」を目的として、「しまね和牛肉」の食味に与える効果について、官能試験等の手法を用いて検討し、データの提供・技術協力を行う。



籠橋有紀子准教授による研究成果発表



「しまね和牛肉」の分析（左）および官能試験（右）の様子

このほか、難病患者会の活動支援のため、健康栄養学科教員および学生がボランティアとして活動した炎症性腸疾患患者会研修会「陽だまりの会（松江市）」（7 月 14 日、教員 1 名、学生 8 名）、「はなみずきの会（浜田市）」（9 月 23 日、教員 1 名、学生 2 名）「倶楽部 UCD（出雲市）」（10 月 28 日、教員 1 名、学生 8 名）研修会（教員 1 名、学生 7 名（7 月 9 日）、小児糖尿病患者会「第 39 回小児糖尿病大山サマーキャンプ（主催：日本糖尿病協会島根県支部「大山家族）」にて教員 1 名、学生 11 名（8 月 5 日～12 日）】。

【保育学科の地域活性化支援】

保育学科においては、福井一尊准教授が、島根県保育所（園）・幼稚園造形教育研究会顧問として県内保育所・幼稚園に連携協力し、平成 24 年 11 月 26 日に本学で園児の絵画作品審査会を実施した。同審査により選ばれた園児の作品は、島根県立美術館で平成 25 年 1 月 17 日から 21 日まで「第 8 回島根県保育所（園）・幼稚園造形作品展」として展示・公開された。

また福井一尊准教授は、平成 24 年 12 月 5 日に島根県・社会福祉法人島根県社会福祉協議会主催の「平成 24 年度障がい者アート推進セミナー」において、障がい者による絵画・書・写真・

デザイン・工芸等の作品を審査委員長として審査し、また専門職者向けの研修会を実施した。同審査により選ばれた作品は、島根県立美術館で平成 24 年 12 月 7 日から 9 日まで「平成 24 年度島根県障がい者アート作品展」として展示・公開された。

また、昨年度に山下由紀恵教授・森山秀俊教授・福井一尊准教授が、NPO 法人あしぶえ・松江市健康福祉部子育て課との共同研究を通じて開発した「松江発一保育専門職のための『表現とコミュニケーション』ワークショップ・プログラム」の効果を土台として、本年度は保育学科の正課「児童文化」に NPO 法人あしぶえによるワークショップを組み込み、一部連携した授業を実施した。

【総合文化学科の地域活性化支援】

総合文化学科では、しまね多文化共生ネットワークとの共催による「医療英語勉強会」（ラング・クリス講師）の開催、英語絵本の読み聞かせ（小玉容子教授）、卒業プロジェクトおはなしゼミによる読み聞かせボランティアの実施（岩田英作教授）、NPO 松江ツーリズム研究会と連携した、『のんびり雲』写真展と座談会（大塚茂教授）および文化資源をツーリズムに生かす実践活動（小泉凡教授）等、昨年に引き続き、活発な活動が行われた。

* 「キッズイングリッシュ」の英語絵本の読み聞かせ活動

平成 24 年度の「キッズイングリッシュ」（担当は小玉容子教授、総合文化学科 2 年前期）受講生 15 名は、おはなしレストランライブラリーで「英語絵本の読み聞かせ」を行った。7 月から 10 月にかけて、絵本の読み聞かせと歌や手遊びなどを組み合わせ、20 分程度の時間で計 7 回実施した。

学生たちは、出版されている絵本だけでなく、授業で作成した教材なども用いて、児童英語教育実践活動を行うことができた。子供たちだけでなく保護者も一緒になっての活動となり、学生の実践力向上にとっても貴重な体験だった。なお、卒業プロジェクトおはなしゼミによる、読み聞かせボランティアについては、「3. おはなしレストランライブラリーの地域連携活動」に前掲。

* 医療英語勉強会

「医療英語勉強会」は、島根に住む外国人を対象とした医療通訳育成・技能向上を目的として実施中の事業である。しまね多文化共生ネットワークと連携し、平成 20 年 4 月から平成 25 年 3 月にかけて、月に一度金曜日の午後に 2 時間ほど勉強会を実施している。勉強会参加者は、10 名程度である。（担当はラング・クリス講師）

勉強会では、実際の医療場面を想定したテキスト文の日本語から英語への翻訳学習を行ない、診療科ごとの通訳会話役割練習を行なう他、医療に関する研究報告をビデオでみてから、ディスカッションすることで、医療用語を身につけることを目的とした。

* 『のんびり雲』写真展—山陰の「小さな文化」を楽しむ—

総合文化学科が発行する文化情報誌『のんびり雲』は、2006 年の創刊準備号から 2012 年の第 6 号まで計 7 冊を刊行した。号を重ね、写真の蓄積が相当な枚数に達したこの時期に、雑誌発行とは異なる形で『のんびり雲』の発想・視点を広く山陰両県のみなさんに提案し、普及を図る目的で写真展を開催した。開催時期は平成 25 年 3 月 20 日～25 日、会場は島根県立美術

館ギャラリー。(担当は大塚茂教授)

『のんびり雲』の発想・視点とは、地味で平凡な、身近にあってなかなか注目されることのない「小さな文化」こそ地域の魅力の根源であり、これを掘り起こし、楽しみ、今後のまちづくりの中心に位置づけるのが大切、という発想である(文化資源学的着想)。写真展では最も『のんびり雲』らしい写真 120 点を選んで展示した。

たくさんの方に見ていただくために広報活動には力を入れた。チラシは 3000 枚作成し、各方面に配布した。ポスターも製作し、これまでの取材先店舗などに掲示していただいた。報道関係では、事前にイベント情報が山陰中央新報、朝日新聞などに掲載され、展覧会開催の様子が山陰中央新報、NHK、マールテレビなどで紹介された。



会期中の入場者数は 740 人だった。『のんびり雲』という雑誌の存在を知らない方も多数来場し、帰りにバックナンバーを購入してくださる方もいた(販売はミュージアムショップに委託し、合計 87 冊売れた)。なお、『のんびり雲』写真展は、福井一尊(保育学科准教授)写真展『さんいんびより』と同時開催した。相乗効果を期待してのことだが、期待どおりの結果が得られた。

また写真展開催に先立って、地域協力者である NPO 法人松江ツーリズム研究会の山本素久理事長に『のんびり雲』の批評をお願いした。山本理事長のほか、在学中に 2 年間にわたって『のんびり雲』の制作に参加した卒業生の上田絵里子氏や小泉凡教授を加え、座談会を開催した。その他、写真展や座談会には総合文化学科の学生も協力した。

また写真展開催に先立って、地域協力者である NPO 法人松江ツーリズム研究会の山本素久理事長に『のんびり雲』の批評をお願いした。山本理事長のほか、在学中に 2 年間にわたって『のんびり雲』の制作に参加した卒業生の上田絵里子氏や小泉凡教授を加え、座談会を開催した。その他、写真展や座談会には総合文化学科の学生も協力した。

*松江ゴーストツアーおよびミステリー・ゴースト・ツアーの企画・実施

昨年度に引き続き、NPO 松江ツーリズム研究会と連携し、松江ゴーストツアーおよびミステリー・ゴースト・ツアーを企画・実施した。松江ゴーストツアー(へるんコース)は平成 24 年度中に 7 回開催され、小泉凡教授が「小泉八雲—異界への旅」というテーマでツアーに先立ち講演を行った。またミステリー・ゴースト・ツアーは山陰地方の怪談にまつわる場所、パワースポット、出雲神話や水木しげる・小泉八雲ゆかりの地を、参加者には事前に訪問地を知らせることなくバスで 1 日かけて巡る着地型観光プランである。実施日は①6 月 24 日(日) ②8 月 19 日(日)で、のべ参加者は 51 人、小泉凡教授が 2 回のツアーを企画しガイド役をつとめた。



*「ぶら!へるん」の企画実施

小泉凡教授は、NPO 松江ツーリズム研究会と連携し、小泉八雲記念館の企画展示『知られ

ぬ日本の面影』を旅する—高嶋敏展写真展」をまち歩き観光に生かす新しい試み「ぶら！へるん」を企画・実施した。具体的には、8月5日（日）・11月11日（日）に展示会場でのギャラリートークと松江市内のハーンゆかりの地のまち歩きを行い、のべ43名が参加した。

5. 地域活性化支援—自治体等との連携

松江キャンパスは、平成19年度に松江市との協力協定を締結し、その後は協定を踏まえ、「公開講座」でまつえ市民大学と連携するほか、松江市主催行事に本学教員と学生が協力するなど連携を強化している。正課教育において、松江市職員を非常勤講師とする複数の専門科目講義・実習、松江市立施設・学校における実習も継続して実施している。

【松江市主催文化教育行事への協力】

・まちなか大学祭への参加協力

まちなか大学祭は松江市産業経済部産業振興課が中心となり、松江市内の高等・中等教育機関により実行委員会を組織して実施するもので、松江らしい風情を残す中心市街地に学生が足を運び、住民と触れ合う機会を提供し、学生の松江への愛着とまちづくり活動への関心を育む目的で開催されている。平成24年4月29日10:00—16:00まで、カラコ



ロエリア（王水堂駐車場・殿町ギャラリー）で開催された。

松江キャンパスでは24年度からはじめて本格的に参加した。茶道部による抹茶とお菓子のサービス、ティンホイッスル・サークルによるアイルランド伝統音楽の演奏を行った。本学からの参加者は、教員3名と健康栄養学科・総合文化学科2年生約10名。

・「第8回子ども塾—スーパーヘルンさん講座」への協力

松江市観光文化課および「子ども塾実行委員会」主催による、子どもの五感力育成の教育実践である標記事業に、総合文化学科の小泉凡教授が塾長として企画・運営・実施に協力した。期間は、平成24年8月2・9・10日。

・造形美術展「オープン・マインド・オブ・ラフカディオ・ハーン in ニューオーリンズ」への協力

松江市および「オープン・マインド・オブ・ラフカディオ・ハーン in ニューオーリンズ」実行委員会主催。期間は、平成24年10月18日～10月28日。場所は、アメリカ合衆国ルイジアナ州ニューオーリンズのテュレーン大学ジョーンズホール。ハーンの遺品3点、初版本26点とハーンの世界性を題材としたアート作品25点、また松江市を紹介する写真パネルを展示し、レセプション・講演会を実施した。小泉凡教授が実行委員会顧問と

して展示監修・記念講演等を行った。会期中の来場者は約 300 名、記念講演会の来場者は 150 名だった。今後のアイルランドへの巡回展の可能性が期待される。



展示会場にて。在ナッシュビル日本総領事館、テュレーン大学関係者と

・「アイリッシュ・フェスティバル in 松江 2013」への協力

松江市・(財)松江市観光開発公社・松江商工会議所・山陰日本アイルランド協会・京店・南殿町商店街が実行委員会を組織してアイルランドと松江の文化交流・松江の文化振興および中心市街地活性化の目的で実施する行事で、平成 25 年 3 月 10 日に開催。

総合文化学科小泉凡教授が実行委員長として、小倉佳代子非常勤講師、ティンホイッスル・サークルに所属する約 10 名の学生が企画・実施に携わった。

【自治体と連携した共同研究】

- ・平成 24 年度は、島根県立大学北東アジア地域学術交流研究助成金を受け、健康栄養学科教員および学生が、松江市と共同で、食育の地域貢献プロジェクト「大学、行政、地域の連携による、青年層への食育プログラムの開発」を行った。松江市健康まちづくり課管理栄養士と協同して、2012 松江市健康福祉フェスティバルや松江市立女子高等学校、松江市内企業での食育に取り組み、青年層への食育おプログラムの開発を行った。



▼研究会「島根県内における保幼小連携教育の現状と課題」

- ・平成 24 年度島根県立大学学術教育研究特別助成金による共同研究「島根県内における保幼小連携教育の現状と課題」が、島根県健康福祉部青少年家庭課・島根県教育庁義務教育課・松江市教育

委員会小中一貫教育推進課・松江市健康福祉部子育て課と連携して実施された。島根県内の行政担当者との研究協議会、島根・鳥取県内の幼保一体化施設の視察調査を実施し、また県内から幼稚園・保育所等の専門職者を集めて、平成 24 年度保育学科客員教授の無藤隆先生（白梅学園大学大学院教授）による講演会（参加者約 300 名）および事例検討研究会（参加者約 60 名）を開催した。本学のメンバーは保育学科の山下由紀恵教授（代表者）・岸本強教授・白川浩教授・福井一尊准教授・藤原映久講師・矢島毅昌講師である。

【松江市青年会議への協力】

- ・松江市の、若者によるまちづくりの推進を目的として平成 23 年 7 月に設置された「松江市青年会議」に総合文化学科学生 2 名が委員として参加し、松江市に協力する活動を行った。

【松江市立女子高等学校との連携】

- ・松江市立女子高等学校によるキャンパス見学と卒業生交流会
松江市立女子高等学校 1 年生のキャリア教育推進に協力して、1 年生全員（120 名）のキャンパス見学会を実施した。平成 24 年 10 月 17 日 14：00 から 16：00 まで、施設見学と模擬授業を実施した。模擬授業は、地域連携推進委員会から矢島毅昌講師（教育社会学・教育学）により「子どもの言葉の育ちと絵本」というテーマで行われた（会場：大講義室）。講義後に同じ大講義室で、松江市立女子高等学校卒業の本学学生（2 名）との交流会があり、質疑応答が行われた。
- ・松江市立女子高等学校 3 年生（88 名）に、健康栄養学科教員 1 名と学生 8 名が 1 月 30 日 11：00 から 12：30 まで、食育授業を行った。

【正課授業における連携協力】

- ・保育学科専門科目における、学外の専門職現任者および経験者による講義—保育学科専門科目「障害児保育Ⅰ」（1 年後期必修科目・1 単位）の非常勤講師として、「松江市立発達・教育相談支援センター」所長の河井克典講師、同指導主事の青木規子講師、松丘加奈講師、山根司津子講師により、支援の必要な子どもの実態や松江市の取り組み・関係機関との連携等についての講義が行われた。保育学科専門科目「児童館（児童クラブ）の機能と運営」（1 年後期選択科目・2 単位）の非常勤講師として、「松江市立東津田児童館」の石倉優子講師により、実際の児童館活動に関する講義が行われた。保育学科専門科目「乳児保育」（2 年前期必修科目・2 単位）の非常勤講師として、松江市子育て支援センター所長の井上恵美子講師により、長年にわたる豊富な現場経験を基に講義が行われた。保育学科専門科目「地域福祉論」（2 年後期選択科目・2 単位）の非常勤講師として、松江市社会福祉協議会常務理事の須田敬一講師により、松江市における地域福祉の実践例を通じた講義が行われた。
- ・総合文化学科専門科目における、学外の専門職現任者および経験者による講義—「詩と小説の創作」（日本語文化系 1 年生後期選択科目・1 単位）の非常勤講師として、（社）松江観光協会・観光文化プロデューサーの高橋一清講師が、「観光まちづくり学」（文化資源学系 2 年後期選択科目・1 単位）の学外講師として、松江市長の松浦正敬氏、島根県商工労働部観光振興課情報発信グループリーダーの平田聖路氏、島根県教育庁文化財課世界遺産室主任の角俊一氏が授業（各 1 回）を担当した。また「地域探検学」（文化資源学系 1 年生前期選択科目・1 単位）では、現地研修において奥出雲町の全面的な協力を得て、授業を実施した。

- ・松江市立施設・学校における実習協力—健康栄養学科・保育学科の専門科目実習について、松江市立病院、松江市立学校給食センター、松江市立保育所、松江市立幼保園のぎ、松江市立幼稚園が協力し、実習指導を行っている（実習欄に別掲）。
- ・松江キャンパス近辺の幼・小・中学校との密接な連携協力—学生ボランティアが、松江市立幼保園のぎ、松江市立乃木小学校、松江市立湖南中学校等と、教育上の密接な連携協力を行っている。

このような緊密な教育上の連携を踏まえて、平成 25 年 2 月 5 日に「松江市・島根県立大学松江キャンパス・教育連携協議会」を開催し、実習協力や講師派遣について実務的に連携を協議した。実施要綱は、以下のとおりであった。

【平成 24 年度松江市・島根県立大学松江キャンパス・教育連携協議会】

1. 目的

- ・平成 19 年度の「松江市島根県立大学包括協定」にもとづく相互協力の趣旨に基づき、松江市と松江キャンパスの具体的な教育連携事業を見直す。
- ・年度末に、次年度のスムーズな相互協力関係に向けて、教育連携事業における実務的な協議を実施する。

2. 主催 島根県立大学短期大学部松江キャンパス

3. 会場 島根県立大学短期大学部松江キャンパス大会議室

4. 日時 平成 25 年 2 月 5 日（火） 10：00～11：30

5. 議題

- ・実習（栄養士・保育士・幼稚園教諭）受け入れ協力についての情報交換
- ・講師の相互派遣についての計画
- ・共同研究・受託研究について
- ・施設使用の協力についての計画
- ・松江市「平成の開府元年まちづくり構想」と大学連携について
- ・その他

6. 松江市側参加者

- ・政策部次長 錦織裕司
- ・政策部政策企画課副主任 秋原志帆（包括協定担当）
- ・松江市教育委員会 教育総務課長 須山敏之
- ・健康福祉部 子育て課長 湯町信夫
- ・観光振興部 観光文化課長 寺本恵子
- ・観光振興部 国際観光課長 宮廻智美
- ・松江市発達・教育相談支援センター（エスコ）所長 河井克典

7. 松江キャンパス側参加者

- ・副学長 山下由紀恵
- ・健康栄養学科長 名和田清子

- ・保育学科長 白川 浩
- ・総合文化学科長 小玉容子
- ・地域連携推進センター副センター長 小泉 凡
- ・地域連携推進センター教育連携担当委員 矢島毅昌
- ・事務室長 樋野輝男
- ・管理課長 上代勇夫

6. 教育機関等との連携—保・幼・小・中・高・大の教育連携

初等中等教育機関との教育連携については、平成 18 年度の協定締結以降、各学科における松江市立幼保園のぎ・松江市立乃木小学校・松江市立湖南中学校・松江商業高校との緊密な連携協力のもと、教員による特別授業のほか、学生による読み聞かせ実践・食育実践指導等の連携事業を実施し、初等・中等教育側にも、大学教育側にも、大きな教育的成果をあげている。

【連携校協議】

平成 24 年 7 月 17 日に、幼保園のぎ、乃木小学校と松江キャンパスの三者連携会議が行われた。また、平成 24 年 5 月 18 日と平成 25 年 3 月 19 日に、湖南中学校、松江商業高校、松江キャンパスの三者連携会議が行われた。

このような緊密な教育上の連携をふまえて、今年度も昨年度に引き続き「連携校教育研究会」を開催した。大学教育にいたるまでのキャリア教育のあり方について、本学教員講師と連携校教員の間で質疑応答が行われ、大学教育側としても有意義な研究会となった。「連携校教育研究会」開催状況は以下のとおりであった。

[平成 24 年度連携校教育研究会]

- 1 期日 平成 24 年 8 月 20 日(月) 9:30~11:30
- 2 会場 島根県立大学短期大学部松江キャンパス 管理棟 2 階 大会議室
- 3 テーマおよび講師
 テーマ：「キャリア教育における理論と実践」
 - 1) 理論編「キャリア教育はなぜ難しいのか」
 講師：島根県立大学短期大学部保育学科講師 矢島毅昌（教育社会学・教育学）
 - 2) 実践編「キャリアプランニング&おはなしレストラン」
 講師：島根県立大学短期大学部総合文化学科教授 岩田英作（日本近代文学・児童文学）
 - ・出席者の取組み事例・座談会
- 4 参加者 幼保園のぎ 伊藤真知子園長
 乃木小学校 高橋恒夫校長ほか 2 名
 湖南中学校 成相僚一主幹教諭ほか 4 名
 松江商業高校 足立充徳教頭ほか 3 名
 松江キャンパス
 地域連携推進センター小泉 凡教授、矢島毅昌講師、藤原香緒里嘱託員

平成 24 年度松江キャンパス教育機関との連携事業

機関名・事業名称	本学担当者	事業内容	期間	本学参加学生	備考
松江市立湖南中学校 総合的学習の時間への 松江キャンパス連携協力	総合文化学科教授 小泉 凡	総合的学習の時間の講師 「地域探検の魅力ー松江再発見の旅ー」	平成 24 年 6 月 22 日	なし	湖南中 1 年生 177 名 参加
	総合文化学科教授 鹿野一厚	総合的な時間の講師 「フィールドワークの行 い方」	平成 24 年 9 月 20 日	なし	湖南中 1 年生 177 名 参加
	総合文化学科准教授 高橋 純	総合的な時間の講師 「発表について」	平成 24 年 11 月 30 日	なし	湖南中1 年生 177 名 参加
三隅チャイルド(三隅保育 所・岡見保育所・井野保 育所)	保育学科教授 岸本強	3 園合同職員研修会 (講義)	平成 24 年 7 月 13 日		
三隅チャイルド(三隅保育 所・岡見保育所・井野保 育所)	保育学科教授 岸本強	3 園合同職員研修会 (実技)	平成 24 年 10 月 13 日		
新宿区立大久保小学校 総合的学習の時間への 協力	総合文化学科教授 小泉 凡	総合的学習の時間の講師 「小泉八雲と怪談の世 界」	平成 24 年 7 月 13 日 平成 25 年 3 月 22 日		大久保 小学校 3 年生 35 名参 加
邑南町学校教育研究会 健康教育部会	健康栄養学科准教授 直良博之	「食に関する指導(排便 指導)について」講演	平成 24 年 8 月 10 日		健康教 育部会 員 14 名参加
松江市乃木小学校	健康栄養学科 准教授 直良博之 助教 水 珠子	食育授業 「からだのリズムと朝ご はん」	平成 24 年 12 月 14 日	健康栄 養 7 名	5 年生 167 名 参加
松江市立忌部小学校	総合文化学科教授 マユーあき 岩田英作	総合文化学科卒業プロ ジェクト「おはなしゼミ」 定期活動	平成 24 年 4 月～25 年 2 月	総文 11 名	
松江市立幼保園のぎ	総合文化学科教授 マユーあき 岩田英作	3 学科共通科目「読み 聞かせの実践」	平成 24 年 5 月～25 年 1 月	保育 29 名 総文 20 名	
松江市立乃木小学校	総合文化学科教授 マユーあき 岩田英作	3 学科共通科目「読み 聞かせの実践」	平成 24 年 5 月～25 年 1 月	総文 20 名	
出雲市立荘原小学校	総合文化学科教授 岩田英作	総合文化学科卒業プロ ジェクト「おはなしゼミ」 出前シェフ	平成 24 年 6 月 25 日	総文 4 名	
出雲市立高浜幼稚園	総合文化学科教授 岩田英作	総合文化学科卒業プロ ジェクト「おはなしゼミ」 出前シェフ	平成 24 年 6 月 29 日	総文 3 名	
島根県高等学校家庭クラ ブ連盟指導者養成講座 (高校生対象)	総合文化学科教授 岩田英作	総合文化学科卒業プロ ジェクト「おはなしゼミ」 出前シェフ	平成 24 年 8 月 17 日	総文 4 名	
松江赤十字乳児院	総合文化学科教授 岩田英作	総合文化学科卒業プロ ジェクト「おはなしゼミ」 出前シェフ	平成 24 年 8 月 23 日	総文 1 名	

平成 24 年度松江キャンパス教育機関との連携事業（続き）

機関名・事業名称	本学担当者	事業内容	期間	本学参加学生	備考
雲南市立吉田保育所	総合文化学科教授 岩田英作	総合文化学科卒業プロジェクト「おはなしゼミ」 出前シェフ	平成 24 年 9 月 13 日	総文 1 名	
みつき福祉会みつき保育園	総合文化学科教授 岩田英作	総合文化学科卒業プロジェクト「おはなしゼミ」 出前シェフ	平成 24 年 9 月 14 日	総文 2 名	
松原保育園	総合文化学科教授 岩田英作	総合文化学科卒業プロジェクト「おはなしゼミ」 出前シェフ	平成 24 年 9 月 26 日	総文 3 名	
みつき福祉会みつき乳児保育園	総合文化学科教授 岩田英作	総合文化学科卒業プロジェクト「おはなしゼミ」 出前シェフ	平成 24 年 9 月 7 日	総文 2 名	
出雲市立高松幼稚園	総合文化学科教授 岩田英作	総合文化学科卒業プロジェクト「おはなしゼミ」 出前シェフ	平成 24 年 11 月 1 日	総文 9 名	
東出雲子育て支援センター	総合文化学科教授 岩田英作 健康栄養学科教授 安藤彰朗	総合文化学科卒業プロジェクト「おはなしゼミ」 出前シェフ	平成 24 年 11 月 7 日	総文 4 名	
プロジェクト友愛	総合文化学科教授 岩田英作	総合文化学科卒業プロジェクト「おはなしゼミ」 出前シェフ	平成 24 年 11 月 8 日	総文 3 名	
江津市立江津中学校(中学生対象)	総合文化学科教授 岩田英作	総合文化学科卒業プロジェクト「おはなしゼミ」 出前シェフ	平成 25 年 2 月 22 日	総文 9 名	
松江市立宍道幼保園	総合文化学科教授 岩田英作	総合文化学科卒業プロジェクト「おはなしゼミ」 出前シェフ	平成 25 年 2 月 27 日	総文 3 名	
隠岐郡西ノ島町立西ノ島小学校	総合文化学科教授 岩田英作	総合文化学科卒業プロジェクト「おはなしゼミ」 出前シェフ	平成 25 年 3 月 1 日	総文 2 名	

【高大連携活動】

平成18年に協定を締結した島根県立松江商業高等学校との間で、上述のと通りの相互交流を実施している。「出張講座」一覧のとおり、県内外の高等学校で専門講義を行っている。

出張講座(高大連携)の状況 (大学への派遣依頼を受け、専門領域の講義を高校生向けに行った場合)						
期日	時間	テーマ (会場)	回数	担当者	相手先	参加者数
5月18日	9:00 ～ 12:50	五感でとらえた明治の松江～小泉八雲の世界～ 講義および現地研修	1	小泉 凡(総合文化学科教授)	松江市立女子高等学校	30
7月4日	14:00 ～ 16:00	読書の意義と絵本の楽しみ方	2	岩田英作(総合文化学科教授)	島根県立島前高等学校	60
7月5日	16:30 ～ 17:30	読書の意義と絵本の楽しみ方	1	岩田英作(総合文化学科教授)	島根県立隠岐高等学校	20
7月14日	10:00 ～ 11:30	絵本の世界を楽しむ	1	岩田英作(総合文化学科教授)	開星高等学校	20
7月24日	13:40 ～ 14:50	子どもの表現へのアプローチ	1	福井一尊(保育学科准教授)	島根県立松江東高等学校	45
8月17日	10:00 ～ 11:00	絵本の読み聞かせについて	1	岩田英作(総合文化学科教授)	島根県高等学校家庭クラブ連盟指導者養成講座	30
9月18日	13:00 ～ 15:30	西条ガキを用いた新しい食品の開発	1	赤浦和之(健康栄養学科教授)	島根県立大社高等学校	15
10月16日	14:30 ～ 16:20	観光を学ぼう!	1	藤居由香(総合文化学科准教授)	島根県立大田高等学校	14
10月16日	14:30 ～ 16:20	子どもの言葉の育ちと絵本	1	矢島毅昌(保育学科講師)	島根県立大田高等学校	22
12月12日	14:25 ～ 16:15	栄養学について～栄養とからだの係りについてみよう～	2	安藤彰朗(健康栄養学科教授)	島根県立大東高等学校	14
12月12日	14:25 ～ 16:15	リズムを使って英語を学ぼう	2	ラング・クリス・アレキサンダー (総合文化学科講師)	島根県立大東高等学校	12
12月12日	14:25 ～ 16:15	子どもの言葉の育ちと絵本	2	矢島毅昌(保育学科講師)	島根県立大東高等学校	30

【健康栄養学科の教育機関連携】

乃木小学校では、小学5年生約167名を対象に、「からだのリズムと朝ごはん」をテーマとする食育授業に健康栄養学科教員と学生が取り組み、朝ごはんの良いところやバランスの良い朝ごはんを児童と一緒に考えながら実施した。



▼食育授業風景 乃木小学校

【保育学科の教育機関連携】

保育学科の正課「児童文化」では、1年生2年生が合同で複数のパートに分かれて「児童文化」のための制作過程を学び、「ほいくまつり」開催によって地域の子どもたちと交流しつつ、大学での学びを還元している。この「ほいくまつり」の案内にあたって、松江市内保育所・幼稚園がポスター掲示・パンフレット配布に協力している。この「児童文化」の教育課程は、平成17年度文部科学省「特色ある大学教育支援プログラム（特色GP）」の選定を受けて全国的にも評価された。平成24年度「第39回ほいくまつり」は、平成24年6月30日（土）に島根県民会館大ホールで開催され、多くの親子が学生の作りだした歌唱・司会・影絵・劇などの「児童文化」を楽しみ学生と交流した。



▼島根県民会館大ホール入口：
来場者への手作りペンダントのプレゼント

「ほいくまつり」とは？

私たち島根県立大学短期大学部保育学科は、毎年6月島根県民会館大ホールに1,500人の子どもたちとその保護者を招待して『ほいくまつり』を開催しています。

この『ほいくまつり』というのは、私たち学生が日頃学内で学んでいることを総合表現として舞台上で発表することを通して県の児童文化向上に寄与するとともに、地域の子どもたちや保護者の皆様に楽しく夢のあるひとときを過ごしてもらおうという趣旨で開催しているものです。

取り組みの軸となるのは実行委員会です。実行委員長、総合責任者、会計の三役を中心に各パートのリーダーを合わせた14人がその構成メンバーです。このリーダー会は定期的で開催され、各パートの要望や意見が交流されるとともに、話し合いを通じて方針が出されかつ総合的な指示が出されていくのです。

『ほいくまつり』の取り組みは、『児童文化』という授業の一環として行われますが、週に2回の授業の時間だけでは時間は全く足りません。そこで、準備はほぼ毎日、放課後残って行うことになります。5月に入るとパート別のリハーサル、6月になると全体リハーサルが始まります。その場では先生方や他のパートの仲間たちから多くの課題点が出され、よりよいものを創るために各パートは議論をし、修正していきます。もちろん、なかなか自分たちの思うようにはいかず、みんなで悩みながら進めていくことになります。しかし、その過程の中で協力することの大切さを学び、感性を磨いていくとともに、保育というものが要求する厳しさを知るのです。

当日、子どもたちの笑顔にたくさん出会えることは最高の感動ではありませんが、同時に『ほいくまつり』の取り組み過程そのものが私たち自身に大きな自信と勇気と夢を与えてくれるのです。





▼平成 24 年 6 月 30 日 第 39 回ほいくまつり 保育学科一同



▼「第 39 回ほいくまつり」ステージ



▼エントランスにて来場者との交流

【総合文化学科の教育機関連携】

総合文化学科では、卒業プロジェクト「おはなしゼミ」の学生が、松江市乃木小学校、忌部小学校、幼保園のぎなどで、絵本の読み聞かせ活動を行った。（「3. おはなしレストランライブラリーの地域連携活動」参照）

また、総合文化学科の教員は、湖南中学校の「総合的な学習の時間」に協力した。詳細は以下の通りである。

*湖南中学校 1 年生「総合的な学習の時間」への協力授業

総合文化学科の 3 名の教員は、湖南中学校における総合的な学習の時間に、専門分野や総合文化学科の担当授業の内容を生かして、協力授業を行った。この協力授業は、平成 19 年度から開始し、20 年度は開催されなかったが、21 年度以降継続して行われている。小泉凡教授の授業は平成 24 年 6 月 22 日「地域探検の魅力—松江再発見の旅—」、鹿野一厚教授の授業は 9 月 20 日「フィールドワークの行い方」、高橋純准教授の授業は 11 月 30 日「発表について」であった。対象は、1 年生 177 名であった。

7. 教育課程のための地域の施設・機関との連携

健康栄養学科、保育学科において実習先との連携の強化策を検討し、可能な部分から実施している。健康栄養学科では、栄養士養成のため各種給食施設等との緊密な連携を図っている。保育学科は、実習指導計画から実習評価に至るまで実習先と連携して実習成果の充実を図っている。

【健康栄養学科の実習施設・機関との連携】

栄養士免許を取得するためには、校外実習が必修である。平成24年度に実施した県内施設を下表に示した。実習終了後は、評価票の提出を求め、また、次年度の内容を検討する資料として、学生が作成した実習レポートを送付し連携を図った。また、実習先の管理栄養士を本学非常勤講師として招聘したり、学生を島根県栄養士会の研修会に参加させる等して連携強化を図っている。

平成24年度 校外給食実務実習依頼先一覧

地区	実習依頼先	実習人員	日程
島根	松江赤十字病院	4	9/3～9/7
			9/18～9/24(土日を除く)
	松江市立病院	3	8/20～8/24
	独立行政法人 国立病院機構 松江医療センター	2	9/3～9/7
	医療法人 社団創健会 松江記念病院	2	9/10～9/14
	介護老人保健施設 もちだの郷	1	8/27～8/31
	松江市立北学校給食センター	2	9/10～9/14
	松江市立西学校給食センター	2	9/10～9/14
	松江市立南学校給食センター	4	9/3～9/7
	島根県立中央病院	2	8/27～8/31
	特別養護老人ホーム 万田の郷	2	9/3～9/7
	出雲市立出雲学校給食センター	2	9/10～9/14
	安来市立病院	2	8/20～8/24
	雲南市大東学校給食センター	1	9/3～9/7
	飯南学校給食センター	1	9/10～9/14
	邑南町役場西学校給食センター	1	9/10～9/14
大田市学校給食センター	2	9/10～9/14	
鳥取	米子市学校給食センター	2	9/10～9/14
	米子市立淀江共同調理場	1	9/10～9/14
	米子市立弓ヶ浜共同調理場	1	9/10～9/14
広島	河内学校給食センター	1	9/3～9/7
山口	総合病院 山口赤十字病院	2	8/20～8/24
	総合病院社会保険 徳山中央病院	2	8/20～8/24
兵庫	社会保険 神戸中央病院	1	9/24～9/28
京都	国家公務員共済組合連合会 舞鶴共済病院	1	9/3～9/7
	医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院	1	9/3～9/7

地区	実習依頼先	実習人員	日程
奈良	医療法人親生会 総合病院 高の原中央病院	1	9/3～9/7
高知	高知市立介良小学校	1	9/3～9/7

【保育学科の実習施設・機関との連携】

保育学科では、「保育実習Ⅰ（保育所・施設）」「保育実習Ⅱ」については、「指定保育士養成施設の指定及び運営の基準について（厚生労働省雇児発第1209001号）」にもとづき、保育学科が実習施設を選定して実習指導委員会を設けている。毎学年度の始めに、この委員会の協議によって保育実習計画を策定している。

平成24年度 保育学科実習実施施設・機関

区分	所在	施設・機関名	備考
保育所	島根県松江市	松江市立出雲郷保育園（幼児園）、松江市立末次保育所、松江市立城東保育所、松江市立白潟保育所、松江市立やつか保育園、しらとり保育所、嵩見保育所、松江ナザレン保育園、松江保育所、みどり保育所、袖師保育所、つわぶき保育園、虹の子保育園、松尾保育所、愛恵保育園、しらゆり保育園、しらゆり千鳥保育園、なかよし保育園、古志原保育所、つわぶきこども園、こぼと保育園、みのり黒田保育園、わかたけ保育園、錦新町保育園、湯町保育園	1年前期・保育実習Ⅰ（保育所） 2年前期・保育実習Ⅱ
	島根県出雲市	出雲市立直江保育所、おおつか保育園、あすなる保育園、あすなる第2保育園、たいしゃ保育園、平田保育所、荘原保育園、出東保育園、中部保育所	
	島根県雲南市	四ツ葉学園保育所	
	島根県安来市	安来市立安来保育所	
	島根県大田市	大田市立温泉津保育所、あゆみ保育園	
	島根県江津市	江津市立和木保育所、めぐみ保育園、あさり保育園	
	島根県川本町	因原保育所	
	島根県浜田市	美川保育園、長沢保育園、ちどり保育所、みなと保育園	
	島根県益田市	須子保育園、東仙道保育所	
	鳥取県境港市	境港市立上道保育所、つばさ保育園、かもめ保育園	
	鳥取県米子市	福米保育園、福生保育園	
	鳥取県大山町	大山きゃらぼく保育園	
	鳥取県倉吉市	うつぶき保育園	
	鳥取県鳥取市	めぐみ保育園	
	広島県神石高原町	神石高原町立こぼたけ保育所	
	山口県山口市	おおとり保育園	
	佐賀県玄海町	玄海町立保育所あおば園	
児童館・児童クラブ	島根県松江市	東津田児童館、八雲児童センター、乃木児童クラブ、乃木第2児童クラブ、乃木第3児童クラブ、竹矢児童クラブ、やくも児童クラブ、大庭地区児童クラブ、古志原地区第2児童クラブ、津田(第2)児童クラブ、川津児童クラブ、城北児童クラブ、古江地区児童クラブ	1年後期・保育実習Ⅲ
	島根県江津市	松平児童館	
	鳥取県米子市	米子市車尾児童館	
	鳥取県倉吉市	上灘児童センター	
	愛媛県今治市	今治市枝堀児童館	

区分	所在	施設・機関名	備考
児童館・児童クラブ	香川県坂出市 山口県光市 埼玉県さいたま市	まきば児童センター 光市わかば児童館 さいたま市立仲本児童センター	
児童福祉施設等	島根県松江市 島根県出雲市 島根県安来市 島根県浜田市 島根県隠岐の島町 鳥取県米子市	松江赤十字乳児院、島根東光学園、双樹学院、松江学園、松江整肢学園、国立病院機構松江医療センター、島根県立わかたけ学園、しののめ寮 さざなみ学園 安来学園 聖喙寮、こくぶ学園 仁万の里児童部 米子聖園天使園	2年前期・保育実習Ⅰ（施設）
介護福祉施設等	島根県松江市	長命園、生協ふれあいデイサービス、ふれあいヘルパーセッション	2年後期・訪問介護員実習
幼稚園	島根県松江市 島根県安来市 島根県出雲市 島根県雲南市 島根県大田市 島根県江津市 島根県浜田市 島根県益田市 鳥取県鳥取市 鳥取県米子市 鳥取県境港市 鳥取県倉吉市 広島県神石高原町 山口県山口市 佐賀県唐津市	松江市立幼保園のぞ、松江市立雑賀幼稚園、松江市立大庭幼稚園、松江市立内中原幼稚園、松江市立城北幼稚園、松江市立母衣幼稚園、松江市立川津幼稚園、松江市立竹矢幼稚園、松江市立本庄幼稚園、松江市立朝酌幼稚園、松江市立玉湯幼稚園、松江市立しんじ幼保園、松徳幼稚園 安来市立安来幼稚園 出雲市立中部幼稚園、出雲市立莊原幼稚園、出雲市立出東幼稚園、出雲市立東幼稚園、出雲市立中央幼稚園、北陵幼稚園 雲南市立西日登幼稚園 大田市立大田幼稚園、大田市立井田幼稚園 江津市立江津幼稚園 浜田市立長浜幼稚園、浜田市立石見幼稚園 益田幼稚園、吉田幼稚園 さくら幼稚園 みずほ幼稚園、米子みどり幼稚園、かもめ幼稚園、かいけ幼稚園 聖心幼稚園 倉吉幼稚園 どんぐり幼稚園 山口市立平川幼稚園 エルアン幼稚園	2年前期・後期・教育実習

この実習施設・機関により構成された実習指導委員会で策定された実習計画により、実習全体の方針、実習の段階、内容、施設別の期間、時間数、学生の数、実習前後の学習に対する指導方法、実習の記録、評価の方法が明らかにされている。

「保育実習Ⅲ」と「訪問介護員実習」については、実習施設を保育学科が選定して実習指導委員会を設けている。実習生、実習施設の指導者、本学実習担当教員が、それぞれ緊密に連絡をとりながら実習の効果を十分発揮するように努めている。

「教育実習」については、原則的に実習指導委員会を設けるが、学生が自主的に地元等の実習幼稚園を選定する場合は個別に対応している。実習生、実習幼稚園の指導教員、本学実習担

当教員が、それぞれ緊密に連絡をとりながら、実習の効果を十分発揮するように努めている。平成 24 年度に保育学科が連携して実習を実施した実習施設・機関は上の表のとおりであった。

【学生の自主的なボランティア活動】

平成 22 年度より、島根県立大学「学生地域ボランティア活動推進事業」の一環として、学生のボランティア保険加入を支援している。24 年度の学生のボランティア保険加入は、422 名。また学生の活動先は、以下のとおりであった。

- ・ 障害者・高齢者支援ボランティア
- ・ 障害児支援ボランティア
- ・ 島根県立青少年自然の家（サンレイク）ボランティア
- ・ 松江市立幼保園乃木ボランティア
「のぎっこまつり」「運動会・園児援助」
- ・ 保育園・幼稚園・学童保育ボランティア実習（個人）
県内外の幼稚園・保育所
「放課後のぎっこ広場」「安来市立十神小学校」
ほか



▼サンレイクボランティア

- ・ アイリッシュ・フェスティバル in 松江 2013 ボランティア
 - ・ 災害ボランティア
「島根県災害ボランティア隊（大槌町・釜石市・大船渡市・陸前高田市・住田町ほか）」
 - ・ JASP（Japan All Students Project）島根「全国タスキリレー」ボランティア
 - ・ 神話博しまね おもてなしボランティア
 - ・ 全国図書館大会
 - ・ 第 9 回子ども塾—スーパーヘルンさん講座ボランティア
- ・ この他、保育学科学生は島根県内外の多くの保育園（所）・幼稚園、児童クラブなどにおいて、個人でボランティア実習を行った。

学生地域ボランティア活動推進事業の説明と記録簿の照会、保険加入の説明、平成 24 年度の地域ボランティア活動先、参加した学生の体験記をとりまとめて、「学生ボランティアのしおり」を作成した。平成 25 年度以降の、学生の活発な地域活動支援に役立てたい。

8. 島根県立大学短期大学部松江キャンパス公開講座「椿の道アカデミー」開催状況

実施日	時間	講座名	講師	開催場所	受講者数 (のべ人数)	
6月20日	14:00～15:20	もの、いのち、こころ、ことばとかたち—人間の営みの独自性—	河原修一	体育館研修室	75	
6月27日	14:00～15:20	ジャワの台所と人々のつながり	塩谷もも		65	
7月18日	14:00～15:20	キケロ『友情について』を読む	村井洋 (浜田キャンパス)		61	
8月22日	14:00～15:20	地域社会における“映画・映像文化”の実情と未来	瓜生忠久 (浜田キャンパス)		55	
8月29日	14:00～15:20	01. 総合文化学科講座:「人の営み」を考える(全8回) カミガミと暮らす人々～沖縄・久高島を訪ねて～	小泉凡		61	
9月19日	14:00～15:10	住居の歴史から考える人の営み	藤居由香		53	
	15:20～16:30	小泉八雲とハーバート・スペンサー	飯田泰三 (浜田キャンパス)			
10月17日	14:00～15:20	自然災害と文学	岩田英作			44
11月14日	14:00～15:20	ことばの間違い?それとも、ことばの変化?	高橋純		49	
6月15日	15:00～17:00	現代語訳解説その1	藤岡大拙 (元本学学長)		体育館研修室	60
6月29日		現代語訳解説その2		57		
7月20日		現代語訳解説その3		48		
7月27日		現代語訳解説その4		46		
10月5日		英語訳解説その1	小玉容子	19		
10月19日		英語訳解説その2	竹森徹士	15		
10月26日		英語訳解説その3	松浦雄二	10		
7月30日～8月3日	(月)～(金)	10:40～12:10	03. 英語絵本の音読と「読み聞かせ」に挑戦(全5回)	小玉容子	図書館グループ閲覧室	40
7月14日	(土)	13:00～15:00	04. 山陰民俗学会連携講座:島根県の民話とわらべ歌を中心に(全4回)	「古事記」神話につながる民話のこと	酒井董美 (山陰民俗学会会長・本学非常勤講師)	18
7月21日				出雲の昔話「金の犬こ」から		19
7月28日				石見の伝説「菖蒲が迫の婆」から		12
8月4日				隠岐の伝説「蟹淵」から		13
8月25日	(土)	10:30～13:00	05. 食育講座:和食の基本調理実習(全3回)	基本の基!「ご飯・味噌汁・卵焼き」+おにぎりのコツ	小柏道子、坂根千津恵、兼折真由美	9
9月1日				惣菜は作れる!「煮物・和え物」+だしの取り方(一番だし、二番だし)		11
9月22日				野菜不足解消!「鍋物」+ポン酢も自家製		10
6月9日～11月24日	(土)	14:00～16:00	06. 民族音楽の楽しみ:ガムラン教室(全10回)	瀬古康雄 (元本学教授)	秋岡ガムラン音楽堂	78
6月23日～10月6日	(土)	10:00～12:00	07. 日本語教師の検定講座(文法編)(全5回)	高橋純	体育館研修室	54
6月23日～10月6日		13:30～15:30	08. 日本語教師の検定講座(音声編)(全5回)	高橋純		51
7月27日	(金)	18:30～20:00	09. 福祉住環境コーディネーター検定試験2級対策講座(全8回)	検定概要、過去問題の分析、自宅学習の方法	藤居由香	19
8月24日				リハビリテーションと自立支援	園山 睦子	20
9月7日				疾患別の特性と援助	園山 睦子	14
9月21日				生活援助技術と生活福祉	磯部美津子	17
10月5日				福祉住環境の計画	藤居由香	18
10月19日				住生活福祉の支援	藤居由香	15
11月2日				在宅のための福祉用具	藤居由香	15
11月9日				検定試験直前対策	藤居由香	16
8月7日				(火)	19:00～20:30	10. 健康栄養講座:おいしさの科学(全7回)
8月21日	おいしく食べる仕組み	安藤彰朗	13			
8月28日	味覚の発達と衰退	直良博之	12			
9月4日	食育からみたおいしさとは	小柏道子	9			
9月11日	おいしさへの工夫～臨床栄養の現場で～	名和田清子	11			
9月18日	食品(素材)の特性を生かした食品加工	赤浦和之	6			
9月25日	日本食のおいしさ(調理実習)	名和田清子、坂根千津恵、兼折真由美	12			
7月11日～3月13日	(水)	19:00～21:00	11. 栄養士のためのステップアップ講座(全17回)			
8月2日	(木)	18:30～20:00	12. 初めての陶芸体験:手びねりで、焼き物を作ってみよう(全4回)	粘土成形	福井一尊	12
8月9日	(木)			削り		12
8月23日	(木)			絵付け、釉薬がけ		12
8月30日	(木)			陶芸の楽しみ、観賞会		12
8月22日～24日・26日	(水)～(金)・(日)	13:30～16:00	13:中学生と高校生のための生活プロデュース講座(全4回)	磯部美津子、藤居由香	マルチメディア演習室ほか	10
合計					1,391	

9. 平成24年度 地域連携（貢献）活動の取組状況

1 講演会講師等

NO.	教員氏名	依頼者	内容(テーマ等)	日付
1	名和田清子(健康栄養学科教授)	島根県健康福祉部健康福祉課	保健活動企画研修(保健医療福祉関係専門職への研修会)の講師 「文献検討の必要性について」	平成24年6月4日
2	名和田清子(健康栄養学科教授)	島根県健康福祉部健康福祉課	保健活動企画研修(保健医療福祉関係専門職への研修会)の講師	平成24年度
3	名和田清子(健康栄養学科教授)	日本病態栄養学会	糖尿病腎症病期別の療養指導の実際 グループディスカッションの総括・講評	平成24年6月17日
4	名和田清子(健康栄養学科教授)	陽だまりの会	炎症性腸炎患者会・陽だまりの会(松江地区)炎症性腸炎の食事学習会 講義および調理実習	平成24年7月14日
5	名和田清子(健康栄養学科教授)	雲南市教育委員会	雲南市学校給食従事者職員研修会 「統一献立を題材にした調理技術ディスカッション」	平成24年7月23日
6	名和田清子(健康栄養学科教授)	浜田保健所	はなみずきの会(浜田地区、炎症性腸炎の患者家族の会)食事学習会講師	平成24年9月23日
7	名和田清子(健康栄養学科教授)	島根県牛乳普及協会	平成24年度牛乳・乳製品利用料理コンクール島根県大会審査委員長	平成24年9月25日～10月20日
8	名和田清子(健康栄養学科教授)	出雲保健所	平成24年度炎症性腸炎患者・家族学習会(出雲市)	平成24年10月28日
9	名和田清子(健康栄養学科教授)	島根県	「わが家の一流シェフin 島根」料理コンクール審査員	平成24年11月25日
10	名和田清子(健康栄養学科教授)	JA島根中央会	第9回食料・農林漁業・環境シンポジウム 基調講演「未来を担う子どもたちを育む食育とは～第2次食育推進基本計画を通して～」	平成25年1月26日
11	山下由紀恵(保育学科教授)	益田市保育研究会	「小学校と連携したふるさと教育プログラムについて」	平成24年4月23日
12	山下由紀恵(保育学科教授)	島根県健康福祉部	島根県市町村職員等専門研修会講師(児童福祉司任用資格認定講習会)「母子関係理論と発達心理学」浜田・松江	平成24年8月23日・8月24日
13	山下由紀恵(保育学科教授)	日本臨床発達心理士中国・四国支部	第28回研修会講師「発達支援専門職者の研修ニーズ」	平成24年10月20日
14	山下由紀恵(保育学科教授)	島根県保育協議会	第57回島根県保育研究大会第1分科会助言者「ふるさとで生きる人づくりー保育所からの発信ー(益田市保育研究会)」	平成24年11月10日
15	矢島毅昌(保育学科講師)	社会福祉法人やすぎ福祉会	「保育現場の安全管理について考える」	平成24年12月17日
16	岩田英作(総合文化学科教授)	島根県立図書館	大田市アステラス「読みメン道場」	平成24年8月5日
17	岩田英作(総合文化学科教授)	島根県高等学校図書館研究会	2012年島根県高等学校図書館研修会講演「おはなしレストランの取組について」	平成24年8月7日
18	岩田英作(総合文化学科教授)	雲南市	「早寝早起き朝ごはんフォーラム」のイベント「絵本カフェ」	平成24年10月21日
19	岩田英作(総合文化学科教授)	松江市立乃木小学校	PTA研修会講師「ほっこり絵本ばなし」	平成24年10月24日
20	岩田英作(総合文化学科教授)	雲南市立吉田小学校	「えーさくおじさんの絵本ばなし」	平成24年11月16日
21	岩田英作(総合文化学科教授)	川本町教育委員会	しまね子ども読書フェスティバルin川本町講演「絵本でほっこり親子でにっこり」	平成24年11月25日
22	岩田英作(総合文化学科教授)	隠岐島前PTA連合会	第37回隠岐島前PTA連合会研修大会講演「おとなも楽しむ(絵本)と(童話)」	平成24年12月2日
23	岩田英作(総合文化学科教授)	吉賀町教育委員会	読書フェスティバルinよしか講演 「おはなしレストランinよしか～絵本だよ、全員集合！！～」	平成25年2月8・9日
24	岩田英作(総合文化学科教授)	島根県立図書館	平成24年度市町村読書普及研修会「とことん賢治童話」松江会場	平成25年2月24日
25	岩田英作(総合文化学科教授)	島根県立図書館	平成24年度市町村読書普及研修会「とことん賢治童話」浜田会場	平成25年2月26日

NO.	教員氏名	依頼者	内容(テーマ等)	日付
26	岩田英作(総合文化学科教授)	知夫村教育委員会	講演「おはなしレストランin知夫」	平成25年3月2日
27	岩田英作(総合文化学科教授)	西ノ島教育委員会	平成24年度結集!しまねの子育て協働プロジェクトin西ノ島講演「おはなしレストランin西ノ島ー絵本だよ、子ども大人も全員集合!」	平成25年3月2日
28	小泉 凡(総合文化学科教授)	境港ロータリークラブ	国際ロータリークラブ2690地区 Inter City Meeting 講師 「文化資源として生かす異界」	平成24年4月22日
29	小泉 凡(総合文化学科教授)	株式会社ジェー・ティー・ビー、 NPO法人松江ツーリズム研究会	感動魅力人「小泉八雲と語るへるんの小径散歩」 講師 「小泉八雲・異界への旅」	平成24年5月19日、 7月7日
30	小泉 凡(総合文化学科教授)	早稲田大学エクステンションセンター	『古事記』と小泉八雲から日本の原風景をたどる 講師 「神々の国の八雲ー世界に開かれた出雲をめざしてー」	平成24年6月30日
31	小泉 凡(総合文化学科教授)	美創会	美創会総会記念講演会講師 「資源としての異界ー小泉八雲・水木しげる・出雲神話の世界ー」	平成24年7月3日
32	小泉 凡(総合文化学科教授)	焼津市教育委員会	焼津小泉八雲記念館開館5周年記念講演会講師 「小泉八雲を現代に生かすー記念館の未来の活動に向けてー」	平成24年7月15日
33	小泉 凡(総合文化学科教授)	松江観信会 NPO法人 Spirit of ゆるり	能楽ってなあに?小学生のための体験教室 講師 「妖怪に学ぼう」	平成24年7月21日
34	小泉 凡(総合文化学科教授)	中国地区看護教育協議会	第49回中国地区看護教育協議会講演会 講師 「小泉八雲から現代を考えるーGNPからGNEの時代へー」	平成24年8月3日
35	小泉 凡(総合文化学科教授)	(株)アットアームズ・島根県立美術館	夏休みチェックアニメパーク トークショー 講師 「小泉八雲と『雪女』」	平成24年8月11日
36	小泉 凡(総合文化学科教授)	南部町立図書館	講演会講師 「怪談の世界を楽しむ」	平成24年8月18日
37	小泉 凡(総合文化学科教授)	工学院大学・朝日カルチャーセンター新宿	工学院大学・朝日カルチャーセンター新宿 講師 「小泉八雲を現代に生かす」	平成24年8月25日
38	小泉 凡(総合文化学科教授)	朝日カルチャーセンター湘南	朝日カルチャーセンター湘南 講師 「ハーンと琵琶と芳ー」	平成24年8月25日
39	小泉 凡(総合文化学科教授)	出雲ロータリークラブ	例会 卓話 講師 「文化資源として生かす異界」	平成24年8月28日
40	小泉 凡(総合文化学科教授)	みちのく八雲会	まちづくりNPOげんき宮城研究所創立5周年・みちのく八雲会創立10周年 フォーラム2012 in 石巻 記念講演会講師 「GNP~GNEの時代へー文化資源としての小泉八雲を考える」	平成24年9月1日
41	小泉 凡(総合文化学科教授)	株式会社ジェー・ティー・ビー	旅館女性経営者講習会 講師 「地域資源と観光ー小泉八雲と異界をめぐる取り組みからー」	平成24年9月10日
42	小泉 凡(総合文化学科教授)	株式会社ジェー・ティー・ビー	第341回旅行文化講演会 講師 「語り継ぐ平家伝説ー小泉八雲「耳なし芳一」ー」	平成24年9月23日
43	小泉 凡(総合文化学科教授)	オープン・マインド・オブ・ラフカディオ・ハーン in ニューオーリンズ実行委員会	アメリカ合衆国ニューオーリンズ・テュレーン大学における展示監修および記念講演会講師 “The Open Mind of Lafcadio Hearn in New Orleans”	平成24年10月18日
44	小泉 凡(総合文化学科教授)	関西大学	関西大学東西学術研究所 平成24年度 第2回特別講演会講師 「ラフカディオ・ハーンを現代に生かす」	平成24年11月30日
45	小泉 凡(総合文化学科教授)	松江市立中央図書館	松江市立中央図書館定期講座「小泉八雲に学び親しむ」 講師 「ハーンと散歩ー『ぶら!へるん』を楽しむー」	平成24年12月22日
46	小泉 凡(総合文化学科教授)	松江保護観察所	島根県更生保護会 平成24年度保護司研修会 講師 「ラフカディオ・ハーンを現代社会に生かす」	平成25年1月17日
47	小泉 凡(総合文化学科教授)	鳥取短期大学	平成24年度「山陰論」特別講師 「小泉八雲のみた山陰」	平成25年2月2日
48	石井大輔(総合文化学科講師)	島根大学(文部科学大臣委嘱)	学校図書館司書教諭講習「学校図書館メディアの構成」	平成24年8月7日~ 10日
49	石井大輔(総合文化学科講師)	島根大学(文部科学大臣委嘱)	学校図書館司書教諭講習「学習指導と学校図書館」	平成24年8月20日~ 23日
50	石井大輔(総合文化学科講師)	聖徳大学(文部科学大臣委嘱)	司書講習「情報資源組織演習(主題)」	平成24年8月28日~ 30日

2 審議会委員等

NO.	教員氏名	委嘱(依頼)者	役職名	期間
1	名和田 清子(健康栄養学科教授)	雲南市	雲南市学校給食調理業務等委託評価委員会委員 同 委員長	平成24年4月1日 ～平成25年3月31日
2	名和田 清子(健康栄養学科教授)	松江市	松江市民大学運営委員	平成19年4月1日 ～平成25年3月31日
3	名和田 清子(健康栄養学科教授)	松江市	松江市民大学検討委員	平成24年5月1日 ～平成24年10月22日
4	名和田 清子(健康栄養学科教授)	松江市大学運営協議会	松江市大学運営協議会委員	平成24年2月7日～
5	名和田 清子(健康栄養学科教授)	松江市	松江市健康まつえ21基本計画策定委員会委員	平成24年6月26日 ～平成25年3月31日
6	名和田 清子(健康栄養学科教授)	島根県	島根県環境農業推進協議会 副委員長	平成19年4月1日～
7	名和田 清子(健康栄養学科教授)	島根県	島根県食育・食の安全推進協議会 委員	平成19年4月1日～
8	名和田 清子(健康栄養学科教授)	島根県	島根県食育・食の安全推進協議会 拡大幹事会 委員	平成23年4月1日～
9	名和田 清子(健康栄養学科教授)	島根県	島根県中山間地域等進行対策検討委員会 委員	平成24年8月29日 ～平成26年6月9日
10	名和田 清子(健康栄養学科教授)	島根県	島根県糖尿病委員会委員	平成19年4月1日～
11	名和田 清子(健康栄養学科教授)	島根県教育委員会	平成24年度「栄養教諭を中核とした食育推進事業」 「すこやかしまねっこ」実践事例集作成委員会	平成24年8月20日 ～平成25年3月31日
12	名和田 清子(健康栄養学科教授)	松江市学校給食会	松江市学校給食会最初の評議員選定委員会座長	平成24年6月4日 ～平成25年3月31日
13	名和田 清子(健康栄養学科教授)	島根県学校給食会	島根県学校給食会評議員	平成25年6月15日～
14	名和田 清子(健康栄養学科教授)	公益社団法人日本栄養士会	公益社団法人日本栄養士会研究教育事業部中国支部幹事	平成24年6月17日～
15	名和田 清子(健康栄養学科教授)	公益社団法人 島根県栄養士会	公益社団法人島根県栄養士会生涯学習委員長	平成24年5月25日～
16	名和田 清子(健康栄養学科教授)	公益社団法人 島根県栄養士会	公益社団法人島根県栄養士会研究教育事業部代表者	平成24年5月25日～
17	名和田 清子(健康栄養学科教授)	公益社団法人 島根県栄養士会	公益社団法人島根県栄養士会理事	平成24年5月25日～
18	名和田 清子(健康栄養学科教授)	公益社団法人 島根県栄養士会	島根県糖尿病対策検討委員会 副委員長	平成23年12月1日 ～平成24年3月31日
19	名和田 清子(健康栄養学科教授)	島根県立こころの医療センター	島根県立こころの医療センター 給食業務委託総合評価委員会委員	平成24年9月4日 ～平成24年12月31日
20	名和田 清子(健康栄養学科教授)	島根県立中央病院	島根県立中央病院給食業務委託に係る 総合評価委員会総合評価委員会委員	平成24年9月6日 ～平成24年11月6日
21	坂根 千津恵	・中国四国地区生物系三学会 ・島根大学	中国四国地区生物系三学会合同大会島根大会準備委員	平成24年4月～5月
22	山下由紀恵(保育学科教授)	島根県	島根県障がい者自立支援協議会委員	平成23年4月 ～平成25年3月
23	山下由紀恵(保育学科教授)	島根県	島根県障がい者施策審議会委員	平成23年4月 ～平成25年3月
24	山下由紀恵(保育学科教授)	松江市	松江市子育て支援ネットワーク会議委員	平成19年5月 ～平成25年3月
25	山下由紀恵(保育学科教授)	松江市	松江市心身障害児小規模療育事業検討委員	平成19年5月 ～平成25年3月
26	山下由紀恵(保育学科教授)	松江市	松江市教育委員会専門巡回相談事業相談員	平成23年8月 ～平成25年3月
27	山下由紀恵(保育学科教授)	松江市	松江市幼稚園・保育所(園)在り方検討委員会副委員長	平成23年12月 ～平成25年3月
28	山下由紀恵(保育学科教授)	松江市	松江市教育委員会の点検評価有識者委員	平成23年8月 ～平成25年9月
29	山下由紀恵(保育学科教授)	江津市	江津市松江統合保育所(仮称)運営法人選定委員会委員	平成24年7月 ～平成25年3月
30	岸本強(保育学科教授)	島根県教育委員会	島根県スポーツ推進審議会委員 副会長	平成22年8月 ～平成25年8月

NO.	教員氏名	委嘱(依頼)者	役職名	期間
31	岸本強(保育学科教授)	島根県障害者スポーツ協会	障害者スポーツ支援助成金審査委員	平成23年7月 ～平成26年6月
32	岸本強(保育学科教授)	雲南市教育委員会	幼児期運動指針実践調査研究委員会委員	平成24年4月 ～平成26年3月
33	岸本強(保育学科教授)	島根県体育協会	しまね広域スポーツセンター企画運営委員会 副委員長	平成17年10月 ～平成25年9月
34	岸本強(保育学科教授)	島根県体育協会	医科学サポート委員会委員	平成18年5月 ～平成25年4月
35	岸本強(保育学科教授)	島根県バレーボール協会	統括アドバイザー	平成23年5月 ～平成25年4月
36	岸本強(保育学科教授)	中国バレーボール連盟	諮問会議議員	平成23年5月 ～平成25年4月
37	岸本強(保育学科教授)	中国大学バレーボール連盟	理事	平成13年5月 ～平成26年4月
38	岩田英作(総合文化学科教授)	島根県	島根県子ども読書活動推進会議委員長	平成24年6月2日 ～平成26年6月1日
39	岩田英作(総合文化学科教授)	松江市	小泉八雲作文コンクール審査員	平成24年4月1日 ～平成25年3月31日
40	岩田英作(総合文化学科教授)	島根県	しまね調べ学習プレゼンテーションコンテスト審査員	平成24年11月28日
41	小泉 凡(総合文化学科教授)	島根県教育委員会	島根県立美術館協議会委員	平成23年5月27日 ～平成25年5月26日
42	小泉 凡(総合文化学科教授)	島根日日新聞社	山陰文学賞選考委員	平成20年4月～
43	マユアキ(総合文化学科教授)	松江市	松江市総合計画検証委員会副委員長	平成24年11月19日 ～平成26年3月31日
44	マユアキ(総合文化学科教授)	松江市教育委員会	松江市歴史館運営協議会委員	平成24年12月1日 ～平成26年11月30日
45	藤居由香(総合文化学科准教授)	島根県	しまね景観賞審査委員会委員	平成24年4月1日 ～平成25年3月31日
46	藤居由香(総合文化学科准教授)	松江市	松江市都市計画審議会委員	平成24年4月1日 ～平成25年3月31日
47	藤居由香(総合文化学科准教授)	松江市	松江市歴史まちづくり協議会委員	平成24年4月1日 ～平成25年3月31日
48	藤居由香(総合文化学科准教授)	財団法人島根県建築住宅センター	財団法人島根県建築住宅センター経営委員	平成24年4月17日 ～平成25年3月31日
49	藤居由香(総合文化学科准教授)	雲南市	雲南市新庁舎建設設計候補者選定委員会委員	平成24年5月1日 ～平成25年3月31日
50	石井大輔(総合文化学科講師)	島根県教育委員会	島根県立図書館協議会委員	平成23年6月17日 ～平成25年6月16日
51	石井大輔(総合文化学科講師)	松江市教育委員会	松江市立図書館協議会委員	平成24年11月1日 ～平成26年10月31日
52	石井大輔(総合文化学科講師)	松江市教育委員会	松江市学校図書館支援センター調査研究会委員長	平成24年6月1日 ～平成25年3月31日

3 その他地域連携（貢献）活動等

NO.	教員氏名	相手方	内容	日付(期間)
1	河原修一(茶道部顧問)	松江市教育委員会生涯学習課	短大茶道部 「ぐるっと松江城家族deウォークラリー」《ここで一服!!お茶体験》 抹茶の点て出しと小中学生への点て出しの指導	平成24年10月20日
2	河原修一(総合文化学科教授)	一般県民	図書館グループ閲覧室での読書会	平成24年5月～平成25年3月
3	小泉 凡(総合文化学科教授)	NHK広島放送局	フェイスグラnde「里山資本主義」にゲスト出演し、異界や怪談の文化資源的活用、宮崎駿と小泉八雲の世界の共通性などについて言及する。	平成24年11月2日
4	小泉 凡(総合文化学科教授)	NHK大阪・松江放送局	「歴史秘話ヒストリア」-出雲 縁結びの旅へ！:古事記編纂1300年 神話の里の物語- に出演し、小泉八雲と「古事記」、怪談の意味について言及する。	平成24年11月7日
5	小泉 凡(総合文化学科教授)	NHK松江放送局	NHK総合テレビ『しまねっとNEWS 610』年末ハイライト に出演し、島根に1年を振り返り、コメントをする。	平成24年12月28日